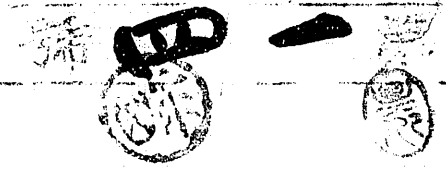


0393



秘

參謀本部 參謀第八〇三號第一

陸軍省 密令第九九

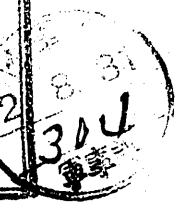
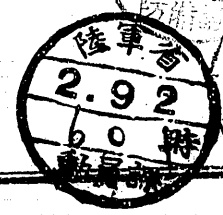
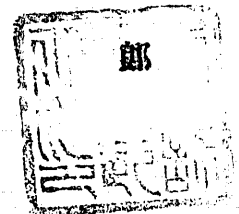
臨時派遣第十師團歸還輸送ニ關スル命令、
指示ノ件通牒

昭和二年八月三十日 參謀次長 南 次 郎

陸軍次官 畑 英 太 郎 殿

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通第十師團長及陸軍運輸部長ニ命令又ハ
指示セラル

三部内一部軍事課へ保管
一部勅令課へ送付



陸 軍

命 令

一、臨時派遣第十師團ヲ内地及南滿洲ニ歸還セシメラル

二、陸軍運輸部長ハ別紙船舶輸送概見表ニ基キ船舶輸送ヲ實施スヘシ

三、陸軍運輸部長ハ内地歸還最後部隊ト共ニ陸軍運輸部臨時青島派遣所ヲ内地ニ歸還セシムヘシ

四、船舶輸送ノ細部ニ關シテハ第三部長ヲシテ指示セシム

昭和二年八月三十日

參謀總長 鈴木 莊 六

陸軍運輸部長 木原 廣 股

陸 軍

考 備		臨時派遣第十師團歸還船舶輸送概見表						
部 隊 名	人員	馬 匹	總 兵 數	乘 船 地 點	乘 船 日 次	陸 地 陸 次	摘 要	
								附 下 年
第十師團司令部	四一	一〇三	一五	青島	九月七日及八月同日	宇	一、軍需品ハ軍隊輸送船ノ餘積及交通船ニ依リ宇品又ハ大連ニ還送入 二、内地歸還部隊ノ乘船上陸日次區分ノ細部ニ関シテハ陸軍運輸部臨時派遣第十師團下協議決定ス	
步兵第八旅團	一〇六	一六〇	四六	青島	九月七日及八月同日	宇		
步兵第三三旅團	九八	一七九	四七					
臨時派遣鐵道班	七	一三三		島	九月六日	大連		
臨時派遣電信班	七	一〇四						
野砲隊第二十隊	一四	一九一	一四三	島	九月六日	大連		
工兵第十四大隊	一	五九	一					
			約二、五〇〇					

一、本表ノ人員數及乘船上陸日次ハ多少変更スルコトアルヘシ
 二、師團司令部人員中若干ハ大連ニ歸還ス
 三、先發員ハ本輸送ニ先キ適宜交通船ニ依リ歸還セシムルコトヲ得
 四、宇品上陸部隊ハ似島ニ於テ積役及消毒ヲ實施スルモノトス

指示

一本輸送、為總噸數約壹萬五千五百噸（青島、内地間輸送）
為約壹萬參千噸青島、大連間輸送、為約貳千五百噸（二相當
スル船舶ヲ使用ス

但軍需品、還送ハ前項船舶及交通船ヲ使用ス

二軍隊輸送船、機裝ハ青島、内地間、輸送船ハ宇品ニ於テ、
青島、大連間、輸送船ハ大連ニ於テ實施ス

患者約五十名（内傳染病患者約十名）ニ對スル所要、設備ヲ
實施スルモノトス

三船内ニ於ケル人員、給養ハ船主、請負賄トシ馬糧ハ現品官
給トス

船内馬糧及船内豫備糧秣ハ左、標準ニ依リ臨時派遣第十

陸軍省

師團經理部より之ヲ受領シ搭載ス

内地歸還部隊

船内馬糧

搭載豫定馬ニ對スル六日分

船内豫備糧秣

搭載豫定人馬ニ對スル三日分

南滿洲歸還部隊

船内馬糧

搭載豫定馬ニ對スル三日分

船内豫備糧秣

搭載豫定人馬ニ對スル二日分

船内馬糧及同豫備糧秣殘量ハ宇品陸軍糧秣支廠又ハ

關東陸軍倉庫ニ返納ス

四陸軍運輸部長ハ本船舶輸送計畫決定セハ速ニ内地鐵道及

南滿洲鐵道輸送處理官ニ通報ス

内地鐵道輸送處理官ハ陸軍歩兵少佐安達二十三(九月七日迄

參謀本部ニ在リ)八日東京出發宇品ニ到ル豫定トス

五、陸軍運輸部長、本輸送實施、爲所要、地點ニ出張員ヲ派遣スルコトヲ得

昭和二年八月三十日

參謀本部第三部長廣瀨壽助

陸軍運輸部長木原清殿

陸軍

指 示

一、臨時派遣第十師團歸還船舶輸送ハ左ノ豫定ヲ以テ陸軍運輸部ヲシテ妥員施セシム輸送ノ細部ニ關シテハ直接同部ト協定スヘシ

内地歸還部隊 九月七日、八日青島乗船、同月十日乃至十三日宇

品上陸

南滿洲歸還部隊 九月六日 青島乗船 同月八日大連上陸

但先發員ハ右輸送ニ先チ適宜交通船ニ依リ歸還セシムルコトヲ得

二、宇品又ハ大連上陸後ニ於ケル鐵道輸送ハ内地鐵道ニアリテハ

參謀本部出張員、南滿洲鐵道ニアリテハ關東軍司令官之

ヲ處理ス

内地鐵道輸送ニ關スル細部ノ事項ハ上陸地ニ於テ輸送處理

官ヲシテ區別セシム

陸

軍

昭和二年八月三十日

參謀總長 鈴木莊六

第十師團長 長谷川直敏 殿

臣 宣

卷 五八九

第二三號

電報譯 九月二日午前午後四時三十分發

2 9 3
午前 午後

陸軍大臣 宛 發信者 陸軍運輸部長

運二四三臨時派遣第十師團船舶輸送ハ先託ノ

通り計畫ハ師團司令部・歩兵第八旅團司令部・

歩兵才三十九聯隊ハ台中丸。歩兵才十聯隊ハシニシカ

丸各七日乘船出帆前者十日及十一日後者十一日及

十二日宇品檢渡上陸。歩兵才三十三旅團歩兵才

四十聯隊ハ^神シニジイ丸各廿日乘船出帆前者十一日

及十二日後者十二日及十三日宇品檢渡上陸。南

滿洲隊還部隊ハ^龍リウウ丸六日乘船八日大

	連上陸の <small>（患著）</small> 泰山丸（交通船）五日乗船出帆八月半	呂上陸。當部臨時派出所ハ適宜各軍隊	輸送船ニ分載ス。但乗船区分若干喪失スル	コトアリ								
--	--	-------------------	---------------------	------	--	--	--	--	--	--	--	--

0403



陸軍省 陸軍運輸部 密 五八九 二

陸軍運輸部 密 二七〇 號

臨時派遣第十師團歸還船舶輸送件報告

昭和貳年八月貳日

陸軍運輸部長 木原清

陸軍大臣 白川義則 啟

首題船舶輸送ヲ別紙ノ字船第四四號
通計畫セシニ付報告ス

陸軍省 陸軍運輸部 2.9.5 午前 3. 5.

陸軍省 陸軍運輸部 2.9.7 60 陸軍運輸課

陸軍省 陸軍運輸部 2.9.10 304 陸軍運輸課

吉切・防備課
陸軍省 陸軍運輸部

秘

第四四號船字

臨時派遣第十師團歸還船舶輸送計畫表

昭和二年九月一日調製

陸軍運輸部

船名 (總噸數)	台中 (3,212)			春華 (2,839)		原田 (4,109)			神瑞 (2,983)	龍鳳 (3,191)		月 日	九 月															備考														
	部 隊 別	第十師團司令部	步兵第八旅團司令部	步兵第九聯隊	步兵第十聯隊	步兵第三十三旅團司令部	步兵第六十三聯隊	鐵道班	電信班	衛生班	步兵第四十聯隊		野砲隊第二聯隊一大隊	工兵第十四大隊一小隊	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		14	15												
人員	將 校	23	3	56	47	11	47	7	8	10	57	14	7																													
	下 士 卒	29	3	807	807	39	797	123	108	30	814	191	59																													
馬 匹	頭 數	15	4	21	22	5	22				21	143	1																													
	計	40			22	27						21	144																													
荷 物	捆 數	338	18	1060	577	88	1,249	188	450	297	1,231																															
	才 數	1,588	112	6,294	3,827	350	7,354	897	2,800	1,250	8,943																															
特種材料	計	1,416 7,994才			577 3,827才	2,272 12,651才						1,231 8,943才																														
	搭 載 地	青					島																																			
搭 載 日	九月七日					九月八日					九月六日																															
揚 陸 檢 疫 地	字					品					大連																															
揚 陸 檢 疫 日	九月十日					九月十一日					九月十三日	九月八日																														
摘 要	1. 人員、給養、船長之相似部隊、上送前、食料、船長、仕掛、ヲ、メ、ノ、ス、(旅、第、規、則、第、五、條、ノ、額)、船、内、馬、糧、ヲ、給、付、ス																																									

備考

- 先發員、本輸送、先々適宜交通船、依り帰還セムルコトヲ得
- 師團司令部人員中、若干ハ大連ニ帰還ス
- 本表ノ人員數、及乘船、上陸、日次ハ多少變更スルコトアルハシ

乘船區分)

搭 載 地

搭 載 日

揚 陸 檢 疫 地

揚 陸 檢 疫 日

摘 要

(2)

海運材料ハ適宜ノ軍隊輸送船ニ
陸軍運輸部臨時青島派此所係管
送納ス
陸軍糧秣支廠又ハ開東陸軍倉庫ニ
船内馬糧及同豫備糧秣ノ殘量ハ宗品
船内馬糧 搭載隊定員對テ一日分
船内馬糧 搭載隊定員對テ二日分
船内馬糧 搭載隊定員對テ三日分
南滿洲州警備隊
船内馬糧 搭載隊定員對テ三日分
船内馬糧 搭載隊定員對テ六日分
内地帰還部隊
部内之ヲ受領シ搭載ス
標準ニ依リ臨時派遣第十師團經理
船内馬糧及船内豫備糧秣ハ左ノ
通船ニ依リ字品又ハ大連ニ運送ス
一 軍需品、軍隊輸送船ノ倉積及交

計畫表配賦箇所及枚數

- 同青島派此所
- 同大連生張所
- 同門司生張所
- 同神戶生張所
- 陸軍運輸部
- 廣島憲兵隊
- 第十四師團司令部
- 同留守部
- 第十師團司令部
- 同師團司令部
- 同師團司令部
- 陸軍省

0404

摘要 (1)

及交 日分 日分 日分 日分 日分 日分

0405

計畫表配賦簡所及枚数

陸軍省	参謀本部	関東軍司令部	近衛師團司令部	第十師團司令部	同 留守部	第十四師團司令部	廣島憲兵隊	陸軍運輸部	同 神戸出張所	同 門司出張所	同 大連出張所	同 青島出張所	
五	六	五	五	一	五	五	三	二	一	一	五	五	六

0406

陸軍省宛

電報譯

九月十日

午前午後

四時四分

三

第二三號

陸軍省宛

發信者陸軍運輸部

帰還部隊、検査場陸軍十日早朝ヨリ開始

ニ毎率進捗シツクアリ

陸軍省 2.9.12 午前8時

陸軍省 2.9.12 189

陸軍省 2.9.12 300 電報譯

陸

軍



第 五八九 号

四



第 二 四 號

電報譯

九月十一日 午前 午後 十一時

四分 十分 著

大臣 宛 發信者 陸軍 運輸 部長

運 二七九

歩 三三 旅團司令 郭 歩一。 聯隊 歩三九 聯隊ノ

一 郭 十一日 午後 三時 檢 疫 揚 陸 無 事 終了

船 内 檢 疫 ノ 結 果 歩一。 聯 隊 赤 痢 疑 似 二 度

見 入 院 セシム 馬 匹 轉 送 三 皮 包 三 馬 匹 之 隔

離 又

大 臣 大 官 軍 令 陸 軍 部 陸 軍 部

陸 軍

040



(在)
(甲)

陸軍大臣宛

電報譯

九月十日午前午後

九時五十分著

發信者 陸軍運輸部長

運二七三

台中丸乘船部隊十日午正六時檢疫場

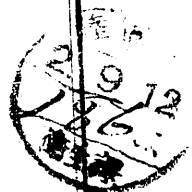
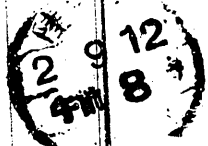
陸無事終了檢疫上赤痢菌保有疑ヒ

者三突見ス

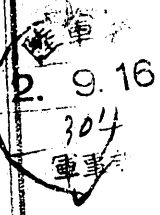
馬三本疑似ノ為隔離ス

鼻疽

五



第四二號



右列ノ如ク見テ又

陸

軍

6070

逓信省

大臣

次官

軍事

防備

衛生

卷五八九

六

第二〇號

電報譯

九月十三日

午前午後

七時三十分

宛

發信者

陸軍大臣宛

次長同文

連三八二

步兵分四丁隊検査揚陸十三日午後一時迄
終了、検査、結果赤痢疑似一、赤痢菌保有者一
馬匹異状ナシ

右検査揚陸ヲ以テ全部ノ船舶輸送ヲ了ルニ全部隊
ヲ通ジ赤痢疑似入院五、赤痢菌保有者一、同疑ヒ
四、其ノ他入院患者五、隔離馬一、全部抑留解除

陸軍

納見 14時 29分

0410

第 號

電報譯

九月十三日 午後二時三十分發

陸軍次官宛 發信者宇品第十師団上陸派遣員
神瑞丸乗組部隊十三日無事上陸リ
完了ス

0411



陸軍次官宛
 發信者十師團參謀長
 名中丸十年前九時發着午後五時
 揚陸ラ了ル

電報譯

九月十日 午前午後

六時五分

分發

第二七號

陸軍省
 2 9. 12.
 午前 8 時

陸軍省
 2 9. 12.
 午後 1 時

陸

軍

0412

陸軍 次官宛 發信者 第十師團 宇呂上陸 部隊 陸軍 春嘉丸 乘組 部隊 十日 無事 上 陸了ス

電報譯

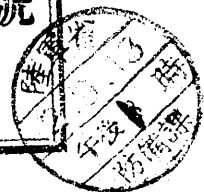
九月十日

日午前午後

三時五分

分著

第一四號



陸軍

0413

軍事

(40)

3311
632

電報譯

月

日 午前 午後

時 四分 五分 十分 著

宛

發信者 運輸部長

第二〇號

大臣 宛
運三七八
春嘉丸乘取部
原十日午後六時校疫
揚陸無事終了

原田丸十日夜半江島着

長後、神瑞丸十一日午前八時江島通過

午後九時江島着了之(江島着了)

陸軍

9.12.
8時
官務廳

三五〇